

東京大学グローバル COE 都市空間の持続再生学 シンポジウム

「四川汶川地震・都江堰市復興の現在―被災10ヶ月：復興課題の共有と復興支援のあり方」の開催について（取材のご案内）

東京大学グローバルCOE都市空間の持続再生学の展開では、四川地震の起こった直後より調査団を派遣し、四川省の都市計画局の依頼をうけて震災復興の街づくりを提案、支援してきました。

日本の多くの震災復興経験をいかしつつ、四川地域に合う街づくりとは何か。このシンポジウムでは、実際の復興の現場に向き合うことによって得られた成果、課題を明らかにし、復興支援とは何かを、日本、中国の当局者も交えて都市計画の観点から議論を深めたいと考えています。

報道関係の皆様におかれましては、本シンポジウムを是非ご取材いただきたくご案内申し上げます。

日時：3月28日（土）10:00～16:30

場所：東京大学工学部11号館ホール（本郷キャンパス：文京区本郷7-3-1）

主催：東京大学GCOEプログラム「都市空間の持続再生学の展開」S1部会

後援：都市計画学会（予定）

プログラム：

【午前の部】復興の実態 10:00～11:40

開会挨拶：石川幹子（東京大学）

挨拶：中林一樹（首都大学東京 都市計画学会四川地震特別研究委員会委員長）

講演1：四川汶川地震の概要：加藤孝明（東京大学）

講演2：復興の歩みと現場から見た復興課題（仮題）：万小鹏（成都市）

講演3：時代の潮流と四川汶川地震復興（仮題）：呂刘（北京大学）

【午後の部】復興の課題の共有と、今後に向けた展開 13:00～16:30

パネルディスカッション：「復興実態の理解を深め、復興課題を共有する」
(13:00～14:30)

コーディネーター：中林一樹（首都大学東京）

パネリスト：万小鹏（成都市）、呂刘（北京大学）、小出治（東京大学）、
田中淳（東京大学）、加藤孝明（東京大学）

ワークショップ：「復興支援のあり方」（14:40～16:30）

コーディネーター：巖網林（慶應義塾大学）

報告1：留学生会の支援：胡昂（東京大学、四川大学）

報告2：東京大学GCOEの支援、都江堰復興ランドデザイン、農村復興、
天賦源田園風光帯、新天賦源公園計画：石川幹子（東京大学）

参加者：東京大学 GCOE メンバー
万小鹏、呂刘、NGO 関係者（調整中）、技術士会（調整中）

まとめ：石川幹子（東京大学）

問合せ先：

東京大学大学院 工学系研究科
特任助教 北垣 亮馬

<http://csur.t.u-tokyo.ac.jp/index.html>